


分野	62	都市経営	通番 150
施策	624	行政事務	
5年後の目標		多岐にわたる行政事務が適正に執行されており、市民が、必要とする行政サービスを滞りなく享受できている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	NICEシステム総括管理事業		会計	款	項	143,608,114	情報システム課
			一般	2	1		
事業の概要							
住民生活に直結し、個人情報も多く含む基幹業務システムの物理的・技術的・人的セキュリティ管理に努めながら、行政事務システムの安定稼働と効率化を図ります。							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	基幹業務システムにおけるウイルス感染による被害件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	0(平成26年度)	目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0		
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系システムを取り扱う端末等に対して、セキュリティパッチの配信(計1回)及びウイルス対策ソフトのパターンファイルの更新(日次)を実施しました。 ・平成30年12月に本市における情報セキュリティ対策の実施状況を把握し、セキュリティレベルの向上を図るため内部監査及び自己点検を実施しました。 ・平成30年9月に全職員を対象としたe-ラーニング研修を実施し、セキュリティ意識の向上を図りました。 ・令和元年の基幹系端末の更新に際し、業務が円滑に進むよう端末モデルや台数等を調整し構築作業に着手しました。 					電算室作業スペース		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系ネットワークに設置したログの監視サーバにおいて、ウイルスや不審なプログラムを常時検知する体制を整えています。また、不正接続を防止する装置を導入しています。 ・特定個人情報による情報連携に関する研修を行いセキュリティ意識の向上に努めました。 ・各課が独自に導入している一部のシステムを既存の基幹業務支援システム利用端末でも利用可能にすることで、業務の効率化に寄与できました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・人的ミスを防ぐため、引き続き研修等を通じた職員の情報セキュリティレベルの向上が求められます。 ・来年度は改元対応や祝日法の改正等、基幹業務支援システム利用全課に関わる案件が相次ぐため、市民生活に影響がないよう慎重な対応が必要となります。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・職員を対象とした研修を行い、情報セキュリティの意識の啓発を行います。 ・関連事業者との調整・連携を密に行い、情報資産が適切に管理・運用されるよう努めます。 ・影響が広範囲にわたる法改正が相次ぐ中、関連各課との事前の情報共有に努め、確実に対応します。 ・基幹系端末の更新に向け、現在利用しているソフトウェアやハードウェアが正常に動作するかを検証する端末を用意するなど円滑な移行を図ります。